農協運営に決まる

陸別町畜産センターで臨時総会

陸別町の畜産センターは町が六〇%、農協が四〇%の経費負担という変則的な運営状態から、町直営なり農協営なり公社営なりでの運営の一本化が県案となっていましたが、二月二十七日に福祉センターでひらいた陸別町農業協同組合の臨時総会で畜産センターの農協運営について大多数の賛成で決定しました。

総会は正組合員二百七十名中百十七名が出席（他に委任状が五十一名）してひらき、岡田組合長から「畜産センター運営の一本化について部落懇談会でも協議したが、三十三年に特定農地開発事業として三十九年まで七年にわたり調査され四十年に着手、四十六年までに総工費約十二億三千八百八十八万円で、六百六十ha歩の草地を造成、六十八戸の増反となり、四十四年にポンテシム協業団地として町と農協とが協約を締結、その運営にあたってきたが、一本化が望ましいと町から五名、農協から五名の特別委員会で再三、再四にわたり協議し一月十日に統一見解が出され町と協約を締結したので本日の臨時総会でみなさんの承認を得たい、将来の酪農経営のために建設的なご意見を頂きたい」とのあいさつがあって議長団に赤川周一郎、宮川光治の両氏を推して議事に入りました。

はじめに千場管理課長から一本化にともなう確認事項について

一、従来の運営委員会は解散する
二、育成事業の借入金の未償還元利金は年度毎に町が農協へ交付する
三、毎年度の運営費は管理者が負担する

四、天災地変など特別の事情の場合は町が援助する
五、団地の有効利用について町は協議、援助する
六、育成事業施設の改良補修、更新に町が協力する
七、事業実施の状況を農協から町へ報告する
八、防災林は町有林のワクとし収益が出た場合は分相経理にあてる
九、施設内の道路の補修は町が援助する
十、団地内の個人名儀の土地は無償貸付とする
十一、土地の貸付は別に契約する
十二、機械、建物などは現在名儀のまま利用する。
十三、借入金などは町が債務保証をする
十四、団地内の財産に代る所有権はすべて共有とし町、農協が相互に有効な活用が存続するかぎりその権利を発動しない

などの項目説明があり、これに対して

—置戸や本別は町直営でやっている、町へ一本化がよいのではないか

岡田組合長　理事会でも討議したが隣接町村とは形態が相異する、運営者だけでなくみなさんも経営するものとなる

—目標頭数はこれ以上だがどうか、全町民のセンターでなければならない

小林生産課長　町と農協の長期計画では将来専業酪農家が百五十戸程度で一戸平均五十頭として七千五百頭が限度と思う

—農協一本化は町に逃げられた感じがする、議会も改選されたら確認事項は心配となる

岡田組合長　町長、助役、産業課長に総会へ出席してもらいたかったが、役場からみなさんに押しつけたようになるので、内輪でやってもらった方がよいとして、こられなかったが、一本化に決まればあとでくる

—もし否決されれば元のサヤとなるのか、九分九厘煮つまっているとみうけるが、議決すればあいさつはおかしい、原案が通ってから顔を出すのではなく町の親ごころがほしかった

—地区懇談会で反対といったら農協から脱退せねばならないといった、赤字になったらどうするか

岡田組合長　賛成しなければ脱退せよとはいわない、赤字になり総会で決めれば負担するのが原則である

—センターの役割は農業に必要で、確認事項どおりなら有難い、一本で賛成する

—五百戸の農家が四戸に一人の職員をおいては人件費でつぶれる

岡田組合長　人件費は毎年あがるが、人件費をうめ合すためのセンターでなく酪農に必要なので町が償還金を返済する、赤字が絶対に出ないとはいえないが、飲んだり喰ったりではなくみなさんのための赤字もある、理事会で検討して一本化を決定した、町でやれば農家で五、六千万円は出さねばならない、大酪農家でない人ほどセンターを利用して頂きたい

などの論議があって挙手採決の結果、賛成多数で農協運営を決めました。

町長・町議選への動き

泥試合？のきざしも

陸別　はもともと政争気運のうすいところへもってきて、こんども杉田町長に対抗馬もないので至って平静

杉田氏は保守層からの支持で登場したがコチコチの保守派でなく無競争、独走とみられながらも革新派へも礼をつくして協力を求めていること。

町議選の方も低調で、形勢観望組もあって本決まりまでにまだ時間がかかりそうですが—

▲大通り　竹内千代蔵、鹿野竹男の両氏
▲東一条　矢鋪正信、国部高延の両氏
▲栄町　早坂英一氏は家族の反対もあり、四年間はとんど発言のなかつた高橋一吉氏もともに未定
▲鉄道区　宮古秀氏
▲共栄　渡辺平吉と林[illegible]の両氏
▲新町　池尻英治氏。新[illegible]の大淵信雄氏は市街の[illegible]ぶれがすくなければ立[illegible]
▲薫別　鈴木定一氏は出[illegible]くないとのことです。
▲上陸地区　西野一郎氏[illegible]赤川周一郎氏は勇退し新人の西岡光男氏に決[illegible]
▲トマム地区　松台国雄（[illegible]）（殖産）高橋誠氏（[illegible]満）の両現役に、新人北村国義氏（関）谷部[illegible]氏（弥生）藤沢勉氏（[illegible]斗満）は決定。ほかに[illegible]議員の新藤万亀男氏（[illegible]務）に新人の坂倉昭夫[illegible]（中斗満）との声も
▲小利別　佐々木茂雄氏[illegible]前議員の西村秀盛氏などの顔ぶれが浮びあがっています。

足寄　の場合は教育長の岡靖氏が一月に入って町長選立起の動きを示したため俄然無風状態が破れて選挙気運がもりあがり、二月はじめに中心街の料亭「若[illegible]」跡を借り切つての岡後援会事務所の旗あげ。ここで「明日の足寄町を創る会」が結成され

△最高相談役　遠山謙　古川政雄
△会長　我妻来一
△会長代行　加藤伊三郎
△副会長　大井武夫　遠藤国喜一　ほか五十名
△幹事長　黒田栄伸
△事務局長　水野源次郎

各氏をメンバーにしての仕事は、全戸にお知らせとして「こと勿れ主義の八方ウロウロの惰性行政」「多くの政治家に見捨てられ系統官庁より疎遠」「他町村より発展の遅れ」「いつの間にか十六億の赤字財政となり町民の一家族が約五十万円の借金を背負つた」「町有財産の売喰い」「ニクソン式の側近行政」といつた内容の暗に小林町政を非難攻撃した文書戦術

これまでの八年間に町議会でとりあげられたこともないし、こうした事実があるのなら小林氏はとうの昔に町長の座を追われている筈で、選挙を前にしてこうした文書を全戸にバラまくのでは泥試合をしかけた形

当の岡氏自身がこの作戦に参画しているとは思われず、知事や市町村長の特別職と違い一般職の岡氏の場合は政治活動は禁止されているのに、すでに全町にカラフルな立看板が立てられるにおよんで、十勝支庁や教育局では地方公務員法違反になってはと心配の態でしたが、三月一日に町役場に出向いて居合せた小林町長と大滝議長に対して「いろいろご迷惑をかけましたが…三日に辞めさせて頂きます」とのあいさつがあったので、三日からは晴れて事前運動？へ・

一方の小林弘道氏は、これまで三期連続して地区労の推薦をうけたことから一般の抵抗はないものの、こんどはじめて社会党の推薦をうけたので左せん回とばかりに、これまでの支持者のなかから岡氏支持にクラ替えの人も出るほど。

なにしろ小林後援会の幹部どころは

△会長　嶺和衛
△会長代行　近藤悦朗　星崎四郎　河向一夫
△副会長　岡崎薫以下百名
△幹事長　大川義夫
△事務局長　豊田春男
△相談役　大滝弥助　斉藤一郎　秋林専三郎　大竹口重利　菅野武之議ほか三十名

の各氏で、自民党支部の副支部長、幹事長、総務会長、政調会長、財政部長などの首脳陣がゾロリと顔をそろえているので、事務所には堂垣内知事の写真をかかげて小林派は革新一辺倒ではないどいわんばかりの体制

—面白くないのは革新派で町民党だどいう小林氏の後援会が知事選で一方に偏するのはおかしいと抗議—さらに二月二十七日の公民館での「五十嵐広三氏と語る会」に池田の丸谷町長でも参加したのに、地元の小林町長は逃げた—とばかりに地区労の組合員はカンカン

小林町長は西小学校や上利別集落センターのメドをつけるために出札して、その会合に間に合うよう帰町の予定が医師の問題がおきておくれたそうですが、二月末から三月はじめにかけて、社会党や地区労では小林氏の推薦を取消すと言い出せば、後援会の方ではそうしてもらえば返ってスッキリするという最悪の事態ともなりましたが、三日間にわたる激論の結果、どちらにしても、保守派だけでも、革新派だけでも一派だけでは勝てないのだから知事選、道議選はそれぞれの立場があるとしても、町長選は一体になってとりくむことになり、堂垣内氏の写真もはずし、雨降って地固まった形。

—もともと地区労と社会党とは一体のものなので、小林氏が特に左よりになったわけではなく、こんどは地区労が共産党を除外したために公明党も小林氏支持を打ち出し、それに自民党の一部も加わっており、どこから推されようが町民全体のための町行政を執行するのが町長で、岡氏の場合も同じ立場で、どちらが当選しようが、住民監視のなかで片よった町政はあり得ないことで、それだけに選挙は泥合戦をさけて正々堂々たるものでありたいこと。

訂正　前号の「新人登場」の記事中、上足寄の畠正吉氏の生年を大正二年は大正六年の誤りでしたので訂正いたします。

庭石は道東随一の当会社へご用命下さい
造園　土木　造林　造材　請負
有限会社　大浦造園
庭石販売店
足寄町芽登　T 五二
足寄有放　T 二四六六

大自然のなかの人工美
—いで湯のふるさと—
観光と保養の
芽登温泉
足寄町芽登　T 二八五五

霊きゅう車　葬儀仏具一式　花輪　生花
（に）自動車
新津はなや
足寄町西三区　T 二六二六

カメラ　八ミリ　写真材料
上野カメラ堂
上野復興
足寄駅通り　T 二五一三

新畳　表替　中古畳　フスマ張替
二段ベッド
敷物一式
マットレス
小林畳店
小林榮三郎
足寄町大通り山口整骨院前　T 二四二八

家具と建材
信用は最大のサービス
技術と納期を誇る
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を
佐藤家具建材店
足寄駅前　電話二二二一番

お墓を新造、改造する方など
お気軽にご相談下さい（無料）
ただし毎日18時から20時まで（随時）
吉相墓研究会
主幹　高本修司
足寄町中央五区　高木とうふ店　T 二二〇五

マツカラー　スチール　共立
チエンソー代理店
刈払機各種　電動工具　造林用具
打刃物類　（機械研磨修理）
有限会社　鈴木鋸刃物店
足寄町大通り　T 二三〇七